

(一社) 愛媛県バスケットボール協会 審判委員会  
審判委員長 様

## 審判講習会 参加報告書

令和 4年 3月 7日  
報告者 山田 佳奈

この度参加しました、審判講習会について報告します。  
なお、この報告書が、審判委員会ホームページ等に掲載されることを了承します。

<b>講習会名 (大会名)</b>	第4回全国社会人バスケットボール選手権大会
<b>参加者 (報告者)</b>	(報告者) 山田 佳奈 (所属カテゴリー) 社会人連盟
<b>期 日</b>	令和4年3月5日から令和4年3月6日
<b>会 場</b>	日環アリーナ栃木
<b>講 師</b>	久保裕紀氏、武田亜沙美氏、村上恵美氏、眞榮喜工氏、宇田津浩史氏、本間さとみ氏
<b>参加者</b>	都道府県派遣 43名、関東・次年度 14名、開催県 27名
<b>報告</b>	<p>大会開催1週間前に Zoom を使用したオンライン研修会が開催された。講師の方々から 3P O メカニクスのベーシックの確認をし、映像を用いた確認も行った。</p> <p>・3月5日(土) 66 遊籠倶楽部(東北3位/福島県) vs L O W S (東海1位/愛知県) 82 CC:梅田香(福井県A級) U1:報告者 U2:今正之(青森県B級)</p> <p>主任宇田津氏より:クルー全体の反省として、リードでボールが動けばローテーションを開始しようとするが、何のためにローテーションをするのか目的があるはず。バックペダルで戻って正解なケースもあったが、果たしてバックペダルは必要だったか。センター側での1対1が多かったために、ボールサイド2を作ることも大事だが、オリジナルセンターに預けて一人で余裕を持って見てもいいケースもあったのではないかと。という反省をいただいた。</p> <p>・3月6日(日) 99 QUEEN BEE (関東4位/千葉県) vs Wins (東海4位/愛知県) 65 CC:山崎真吾(北海道A級) U1:報告者 U2:福田健一(栃木県B級)</p> <p>主任無し、クルーでの反省:選手が倒れるケースが多くあり、どちらが先に仕掛けているのかの確認をもっと早い段階からしたかった。特にリードにいるときのリバウンドへの視野の当て方は近くて全体像が捉えていないことが多くあった。また、自分のプライマリーを意識することの大切さを改めて実感したゲームであった。</p>
<b>所感</b>	<p>まず初めに、コロナ対策のため無観客でありながらも、第1回大会ぶりに全日本社会人選手権大会が開催されたことに感謝しております。私自身久しぶりの派遣であり、緊張もしていましたが、全国各地の審判員とも久しぶりの再会を果たすことができ、大変嬉しく思いました。</p> <p>選手も審判員も十分に準備ができなかった中ではありましたが、今の自分の課題をしっかりと確認しようと今大会に臨み、力を発揮できたところも、また新たな課題を見つけ持ち帰ることもできました。今回の経験を今後の自分のレプリングにも活かせるよう、また県内の審判員にも還元できるよう、努めていきたいと思っております。</p> <p>最後になりましたが、改めて大会を運営・開催していただいた皆様、指導いただきました講師の皆様、開催地栃木県の皆様、コロナ禍で大変なご苦勞があったかと思いますが、お世話になりました。また、今回の派遣の機会を与えていただいた薦田審判長をはじめとする県内審判員の皆様にも大変感謝致しますと共に、私の報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。用紙が足りない場合は、各自追加してください。